

2027年3月期 第1四半期 決算説明

株式会社 **バッファロー**

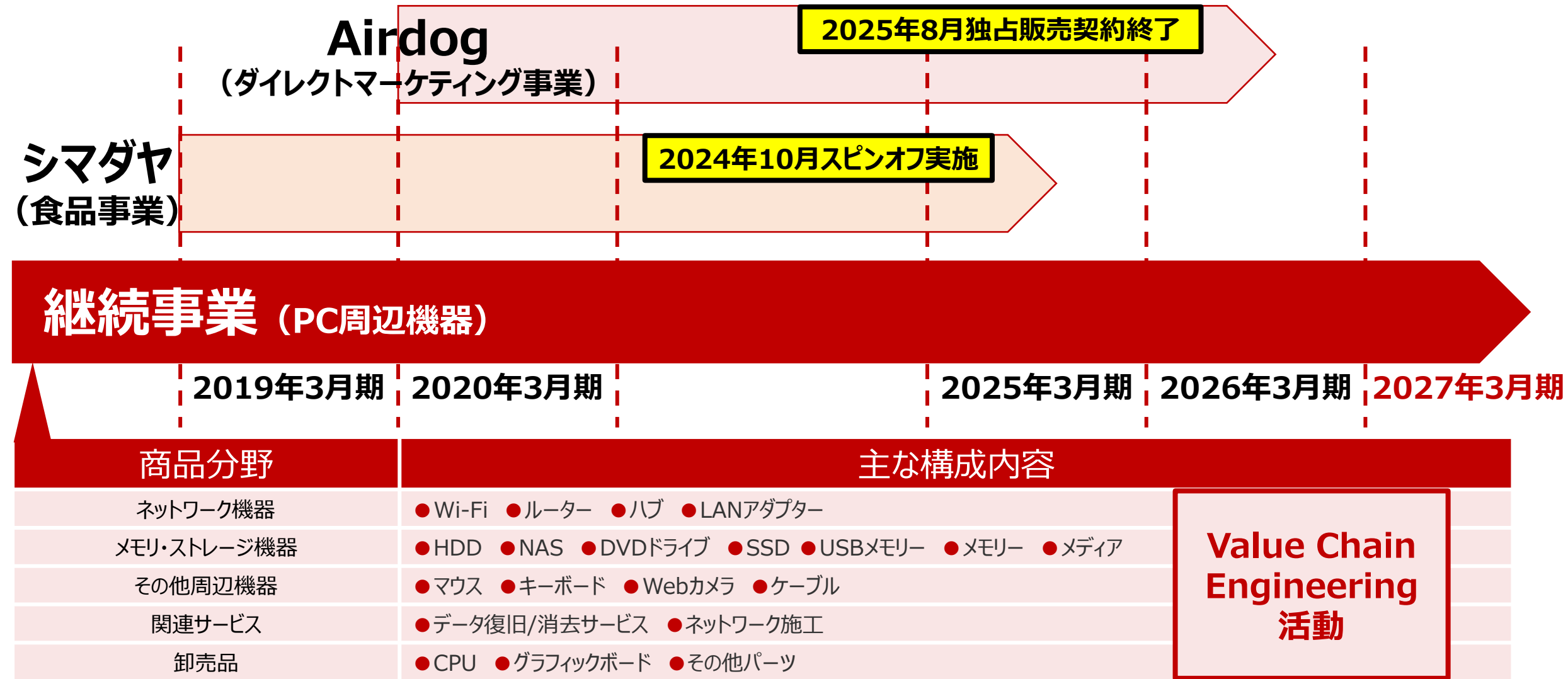
証券コード：6676（東証スタンダード、名証プレミア）

2026年8月6日

1	2027年3月期 第1四半期 決算概要	P.3
2	株主還元	P.11
3	参考資料 ・ 財務指標等 ・ 成長戦略（2026年5月14日公表資料を再掲） ・ 資本政策（2026年5月14日公表資料を再掲）	P.13

本資料における前提

- 「Airdog」シリーズの独占販売契約を2025年 8 月29日をもって終了しております。
- シマダヤのスピノフ、Airdogシリーズの終了に伴い、継続事業を下表のとおり定義しております。



※「継続事業」「Airdog」「食品事業」の分類は管理上のものです（監査対象外）。
※「Airdog」は、蘇州貝昂智能科技股份有限公司の登録商標です。

2027年3月期 第1四半期 決算概要

エグゼクティブサマリー

1

2027年3月期
第1四半期業績

- 継続事業は増収増益、連結ROE15%以上を実現するための収益構造改革が着実に進み、売上高・営業利益共に「稼ぐ水準」を維持
- 適正な価格設定を当期も継続し、販売単価が上昇
- 当社独自の「エンジニアリング・サイクル」を活かした原価低減活動は収益性向上に寄与
- 為替レートはやや円安ながら概ね想定通り
但し、前年同期比10円程度の円安で、利益面では逆風要因

2

今後の見通し

- 為替レートは、第2四半期以降、当初想定（1ドル=155円）より円安に推移する見通しで、利益面では逆風
- 半導体等主要部材の調達価格は、上昇の見通し
- 適正な価格設定、原価低減活動推進を継続
- 不確実性も踏まえ、現時点では通期見通しは据え置き

2027年3月期 第1四半期 連結業績概要

- 全体としては、「Airdog」シリーズの独占販売契約の終了により減収減益となるが、
継続事業は増収増益

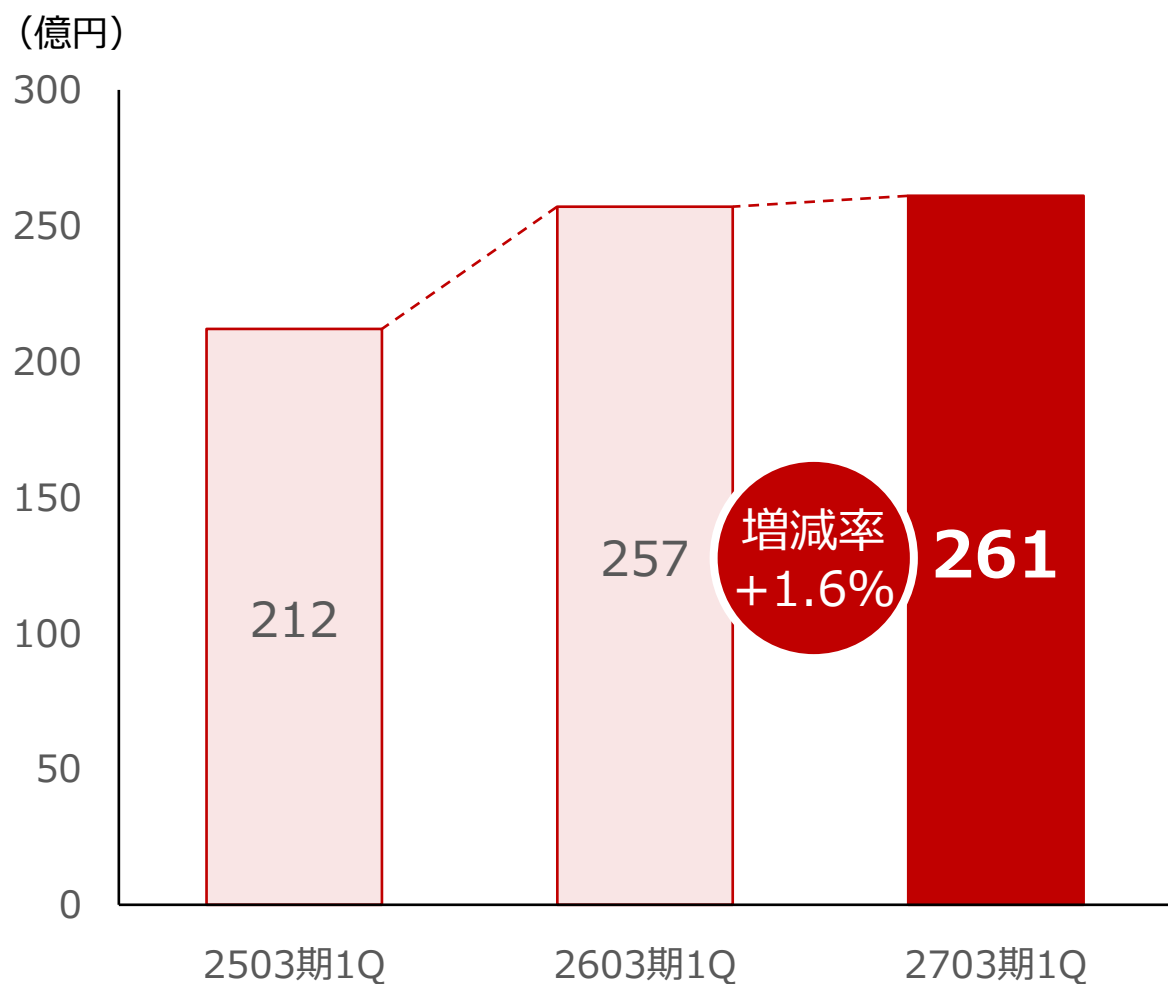
単位：億円	2026年3月期	2027年3月期	
	第1四半期実績	第1四半期実績	前年同期比増減率
売上高	313	262	△16.1%
継続事業	257	261	+1.6%
「Airdog」シリーズ等	56	1	△97.5%
営業利益	29	28	△3.4%
継続事業	14	27	+93.5%
「Airdog」シリーズ等	15	0.7	△94.9%
経常利益	29	28	△3.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	23	20	△11.5%

※億円未満は切り捨てて表示しております。

継続事業の連結業績推移

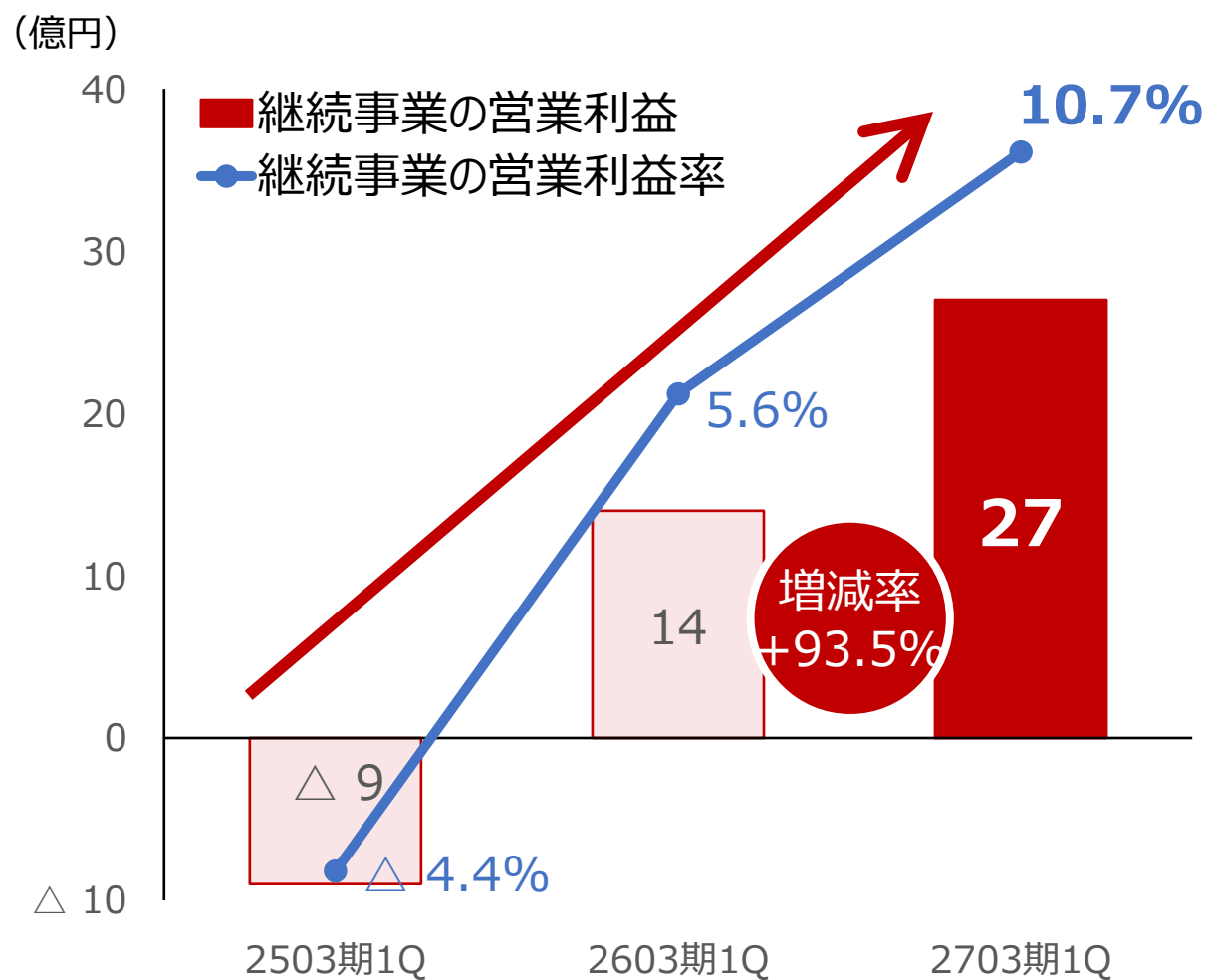
- 連結ROE15%以上の実現に向けた収益構造改革の推進が、着実に成果を生み始めている

継続事業の連結売上高



※億円未満は切り捨てて表示しております。

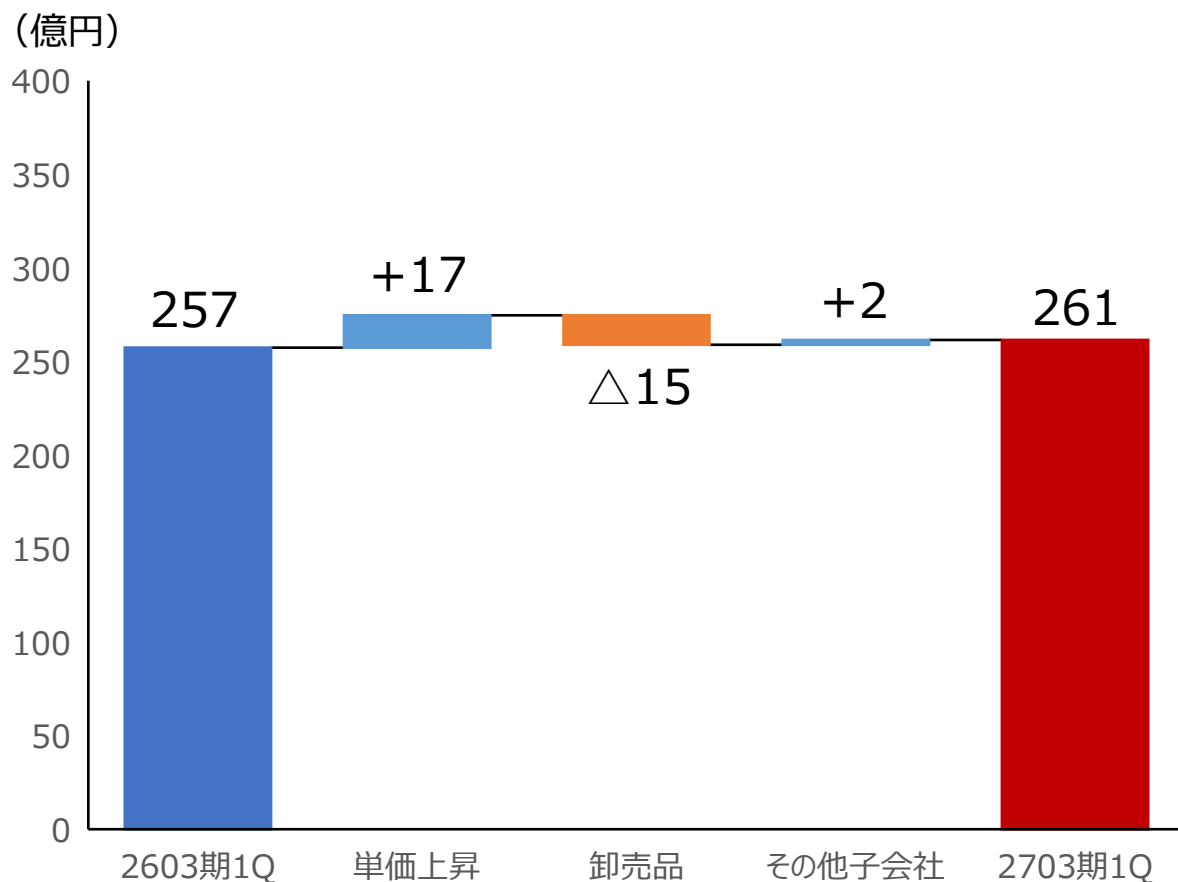
継続事業の営業利益/営業利益率



継続事業の連結業績増減要因

連結売上高

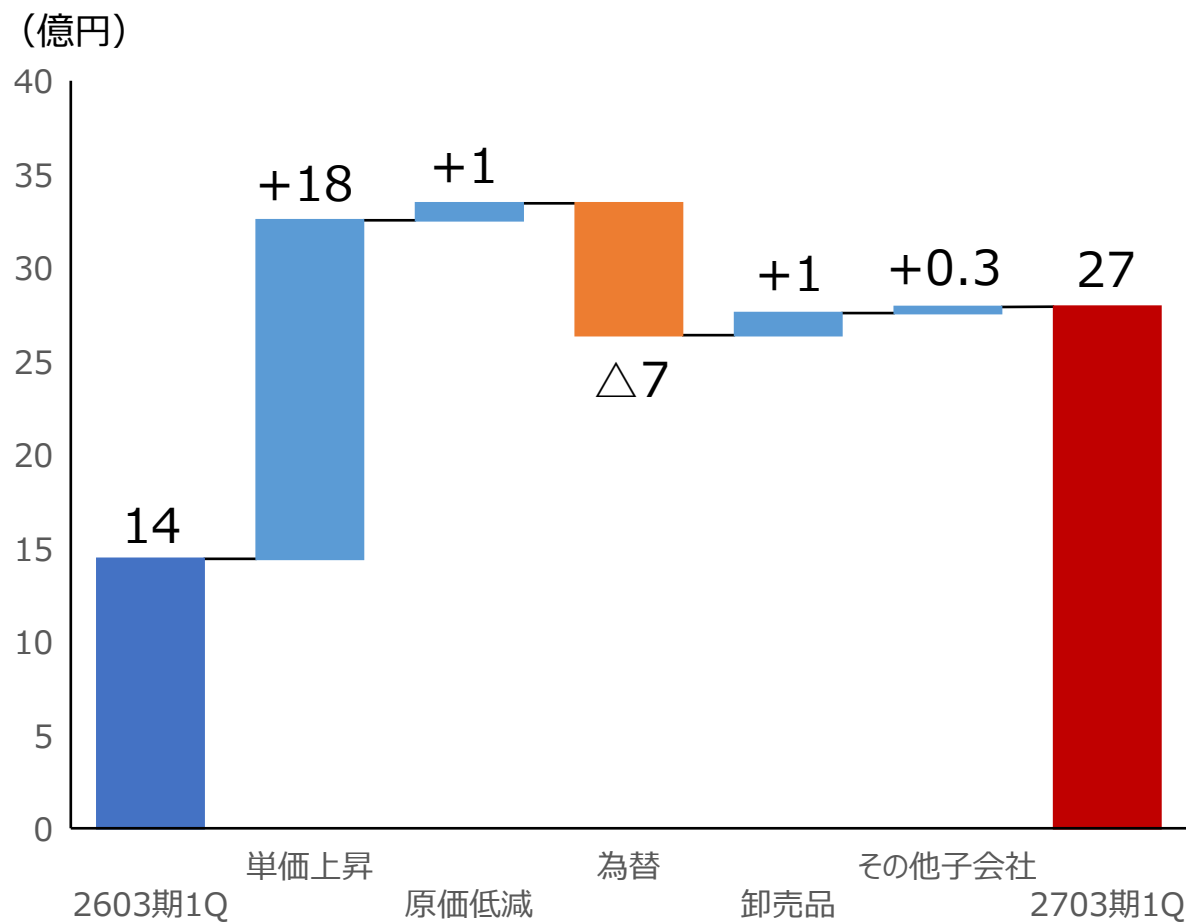
- PC周辺機器での適正な価格設定による販売単価上昇
- 販売単価上昇により需要の減少がみられたものの、販売台数は概ね想定通りに推移



※億円未満は切り捨てて表示しております。

連結営業利益

- 原価の上昇は想定を下回る水準に留まる
- 卸売品における徹底した利益コントロールも奏功



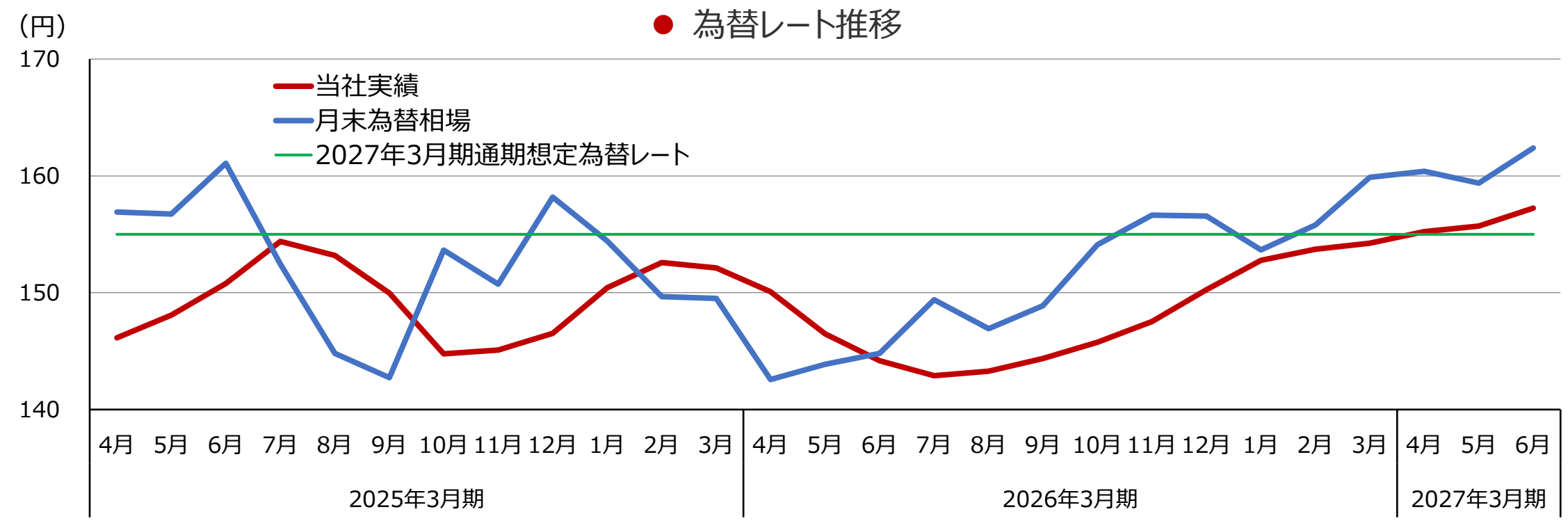
商品分野別の売上高実績

商品分野	2027年3月期 第1四半期 売上高（億円）	前年同期比 増減率	業績概要
ネットワーク機器	65	+8.2%	● 適正な価格設定により販売単価が上昇 ● パソコン周辺機器市場の需要は概ね想定通りながら、メモリを主要部材とするSSD等については販売単価上昇により販売台数は減少 ● 企業DXを支援する一環としてネットワーク機器やNASの拡販に注力
メモリ・ストレージ機器	104	+18.2%	
その他周辺機器	11	△8.8%	
関連サービス	7	△7.6%	● 施設内ネットワーク施工の案件獲得数減により減収
卸売品	71	△17.3%	● 販売単価上昇に伴い需要が縮小する中、徹底した利益コントロールを実施
その他	1	△97.5%	● Airdogシリーズの独占販売契約を2025年8月29日を以って終了したため減収

※億円未満は切り捨てて表示しております。

為替レート

方針	為替予約はレートの急激な変動を緩和する目的とし、長期為替予約はしない
2027年3月期通期 想定	為替レート 155.00円
2027年3月期第 1 四半期 実績	為替レート 156.04円
為替感応度	1円の円高になった場合、営業利益＋約 3 億円/年



2027年3月期 通期連結業績予想

- 足元の業績は好調に推移しているものの、今後の市場環境における不確実性も踏まえ、現時点においては通期連結業績予想を据え置く
 - ・ 為替レートは、第2四半期以降、当初想定（1ドル＝155円）より円安に推移する見通しで利益面では逆風
 - ・ 半導体等主要部材の調達価格は、上昇の見通し
 - ・ 適正な価格設定、原価低減活動推進を継続

単位：億円	2026年3月期	2027年3月期		
	通期連結実績	通期連結業績予想	前年同期比増減率	第1四半期時点での達成率
売上高	1,173	1,100	△6.2%	23.9%
営業利益	92	62	△32.8%	46.3%
経常利益	102	62	△39.3%	46.1%
親会社株主に帰属する当期純利益	80	45	△44.2%	45.4%

※億円未満は切り捨てて表示しております。

株主還元

利益配分方針

連結配当性向30～40%を目安

安定した配当等の株主還元を目指す

配当金

2027年3月期

年間配当予想 60円/株

(中間30円、期末30円)

自己株式取得

2026年5月14日公表

最大112億円/4百万株を取得予定

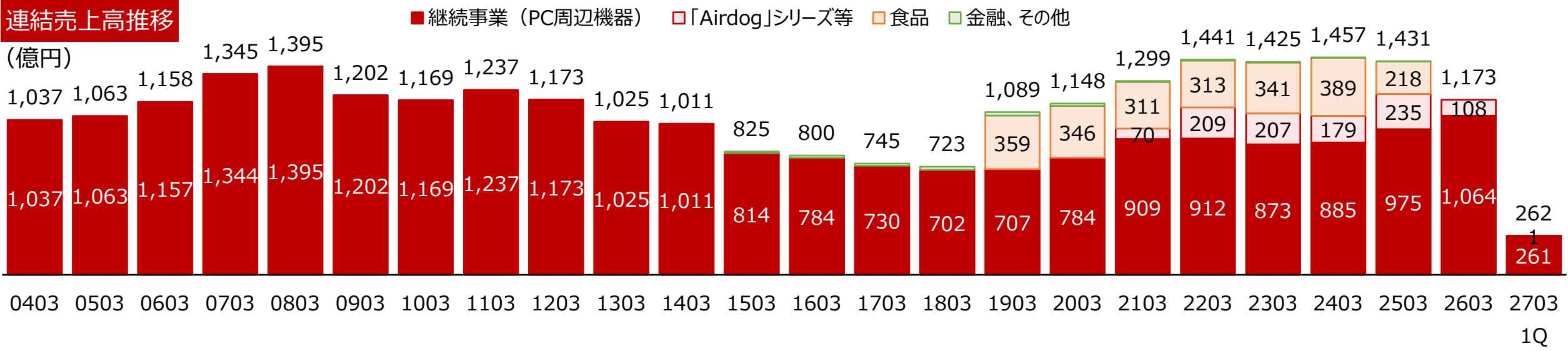
取得期間：2026年5月15日～2027年4月30日

※2026年6月末時点での取得株式数：0株

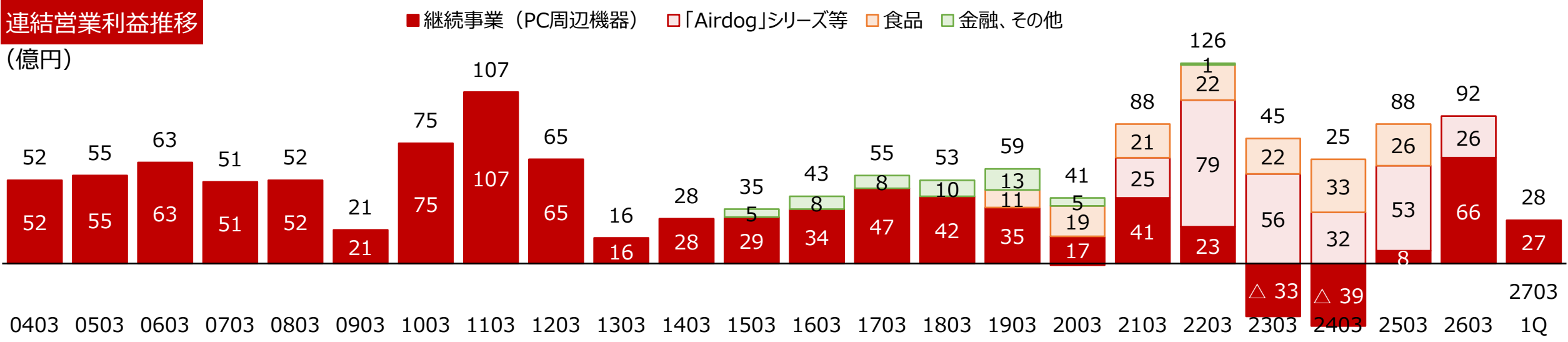
參考資料

継続事業の業績推移（売上高/営業利益）

連結売上高推移



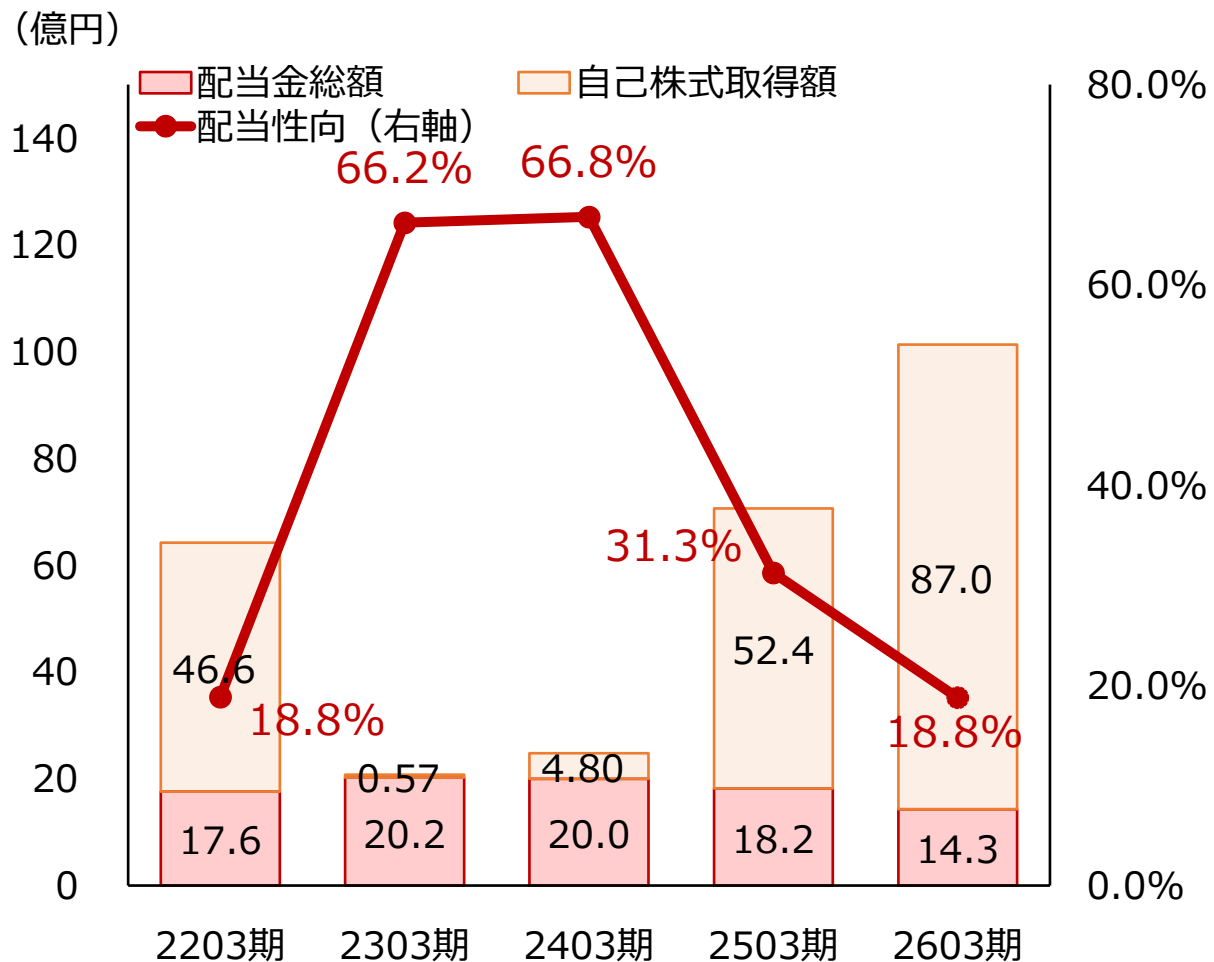
連結営業利益推移



※億円未満は切り捨てて表示しております。
 ※2025年4月1日に実施した吸収合併により純粋持株会社から事業会社へ移行したことに伴い、2026年3月期より表示方法の変更を行っており、2025年3月期以前の売上高、営業利益は当該表示方法の変更を反映した組替後の数値を記載しております。

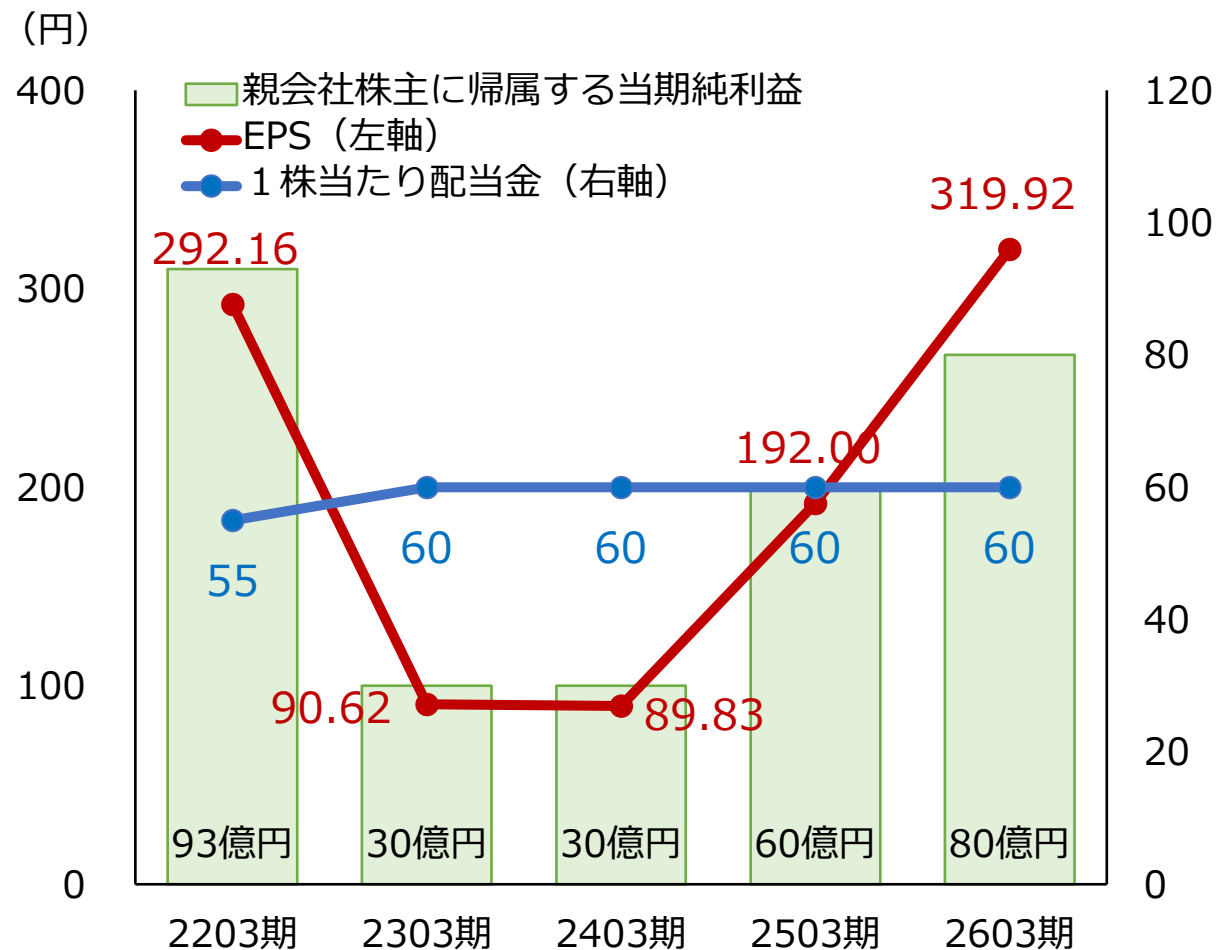
配当性向、EPSの推移

配当性向 ※2026年3月末時点



※シマダヤ株式会社の株式の現物配当（株式分配型スピンオフ）は株主還元には反映しておりません。
※億円未満は切り捨てて表示しております。

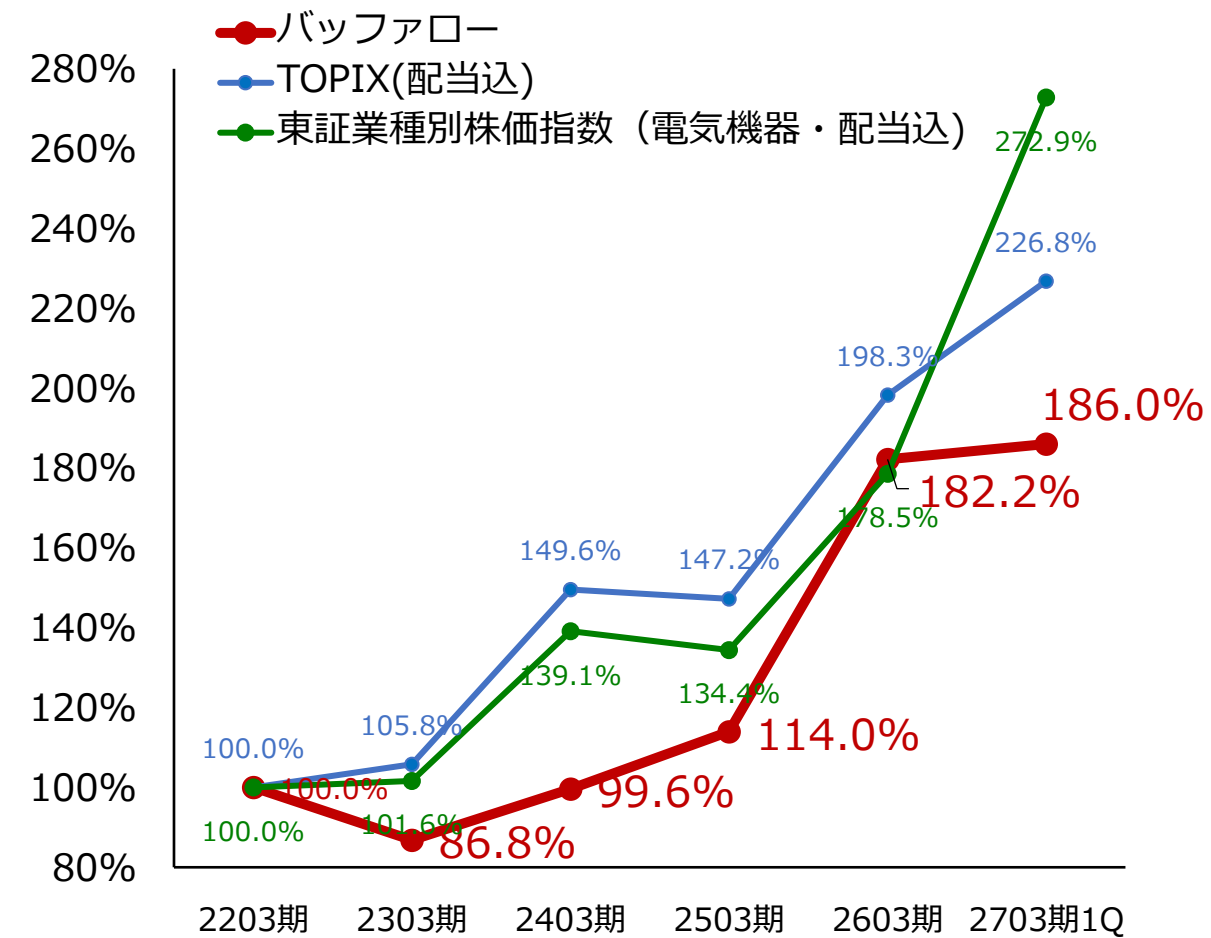
EPS ※2026年3月末時点



※2026年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、2022年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、EPS及び1株当たり配当金を算出しております。

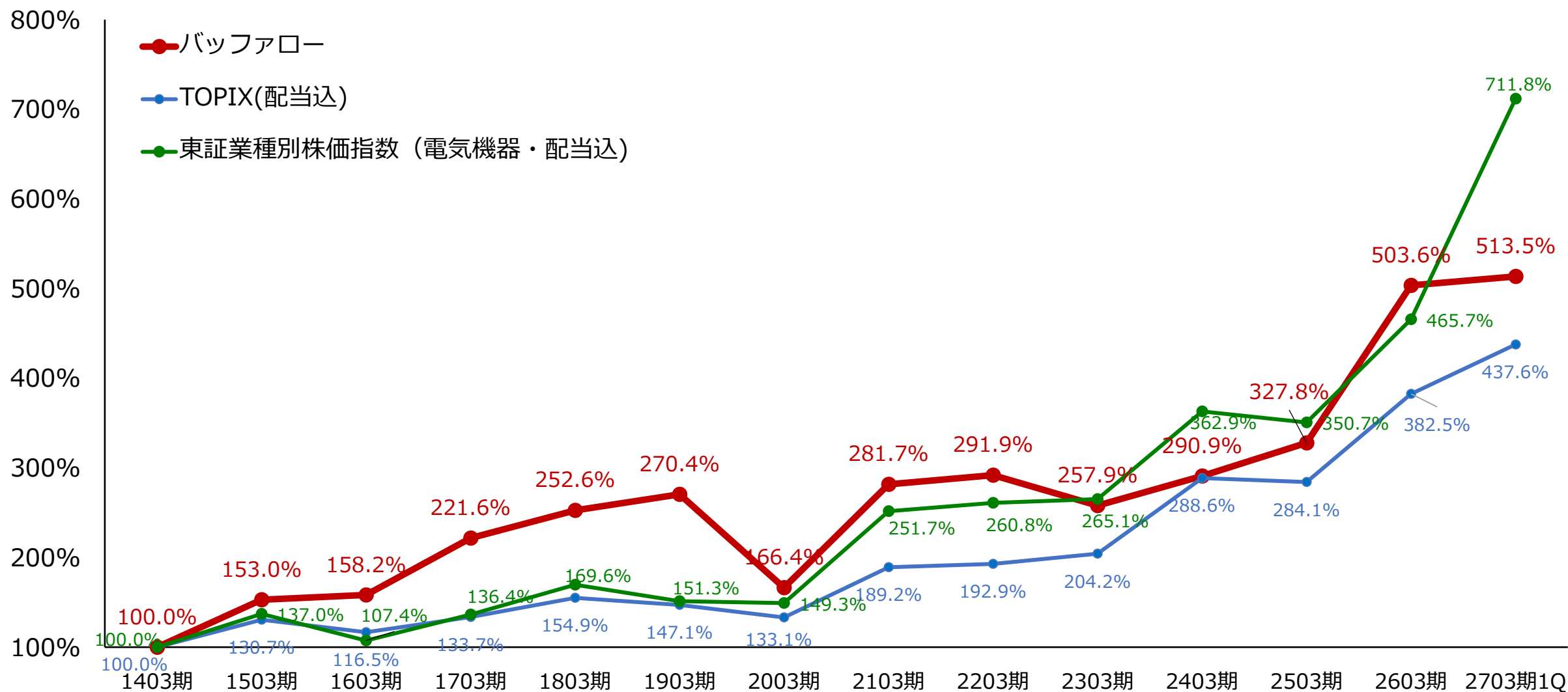
TSRの推移

TSR



※2022年3月31日の終値を100%とした配当込株価指数。
※シマダヤ株式会社の株式の現物配当（株式分配型スピンオフ）を含む。
※株主優待は除く。

TSRの推移（2014年3月期以降）



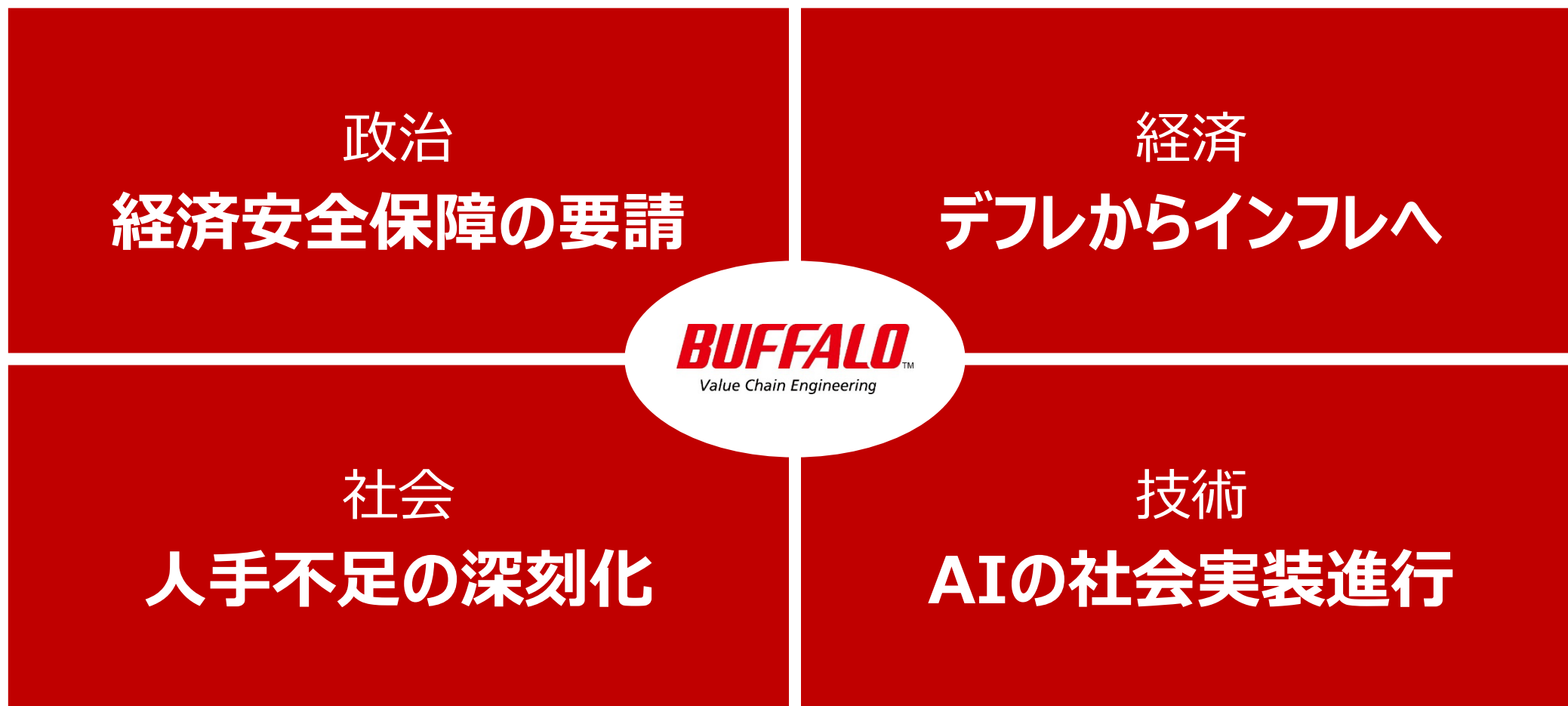
※2014年3月31日の終値を100%とした配当込株価指数。
※シマダヤ株式会社の株式の現物配当（株式分配型スピンオフ）を含む。
※株主優待は除く。

成長戦略

2026年5月14日公表資料を再掲

IT業界を取り巻く環境は変化している

当社は変化に適応し、**持続的な成長とステークホルダーへの分配**を目指す



パソコンの技術要素からみた当社の継続事業の領域

価値を届けるために必要だが、他社が後回しにする領域 ≡ 「**退屈な領域**」
当社の継続事業（PC周辺機器）は、この「**退屈な領域**」でビジネスを展開

ハードウェア

 計算:CPU/GPU

➤花形

CFD：代理店事業で収益化



保存:メモリ/ストレージ

バッファロー：部材仕入と販売寡占化



通信:ネットワーク

バッファロー：国際原価競争力の確保

ソフトウェア



アプリケーション

➤多産多死



ミドルウェア

デジオン：マルチメディアや通信のミドルウェア開発力



OS

➤大規模開発が必要
➤花形



ファームウェア

バッファロー：ファームウェア内製化、深刻化するサイバー攻撃に対応する開発力

周辺サービス



データ復旧・消去

アドバンスデザイン：ハイパースケーラーへ展開



ネットワーク設置施工

バッファローITS：大手オペレータ、専門SIからの業務受託



開発受託

バイオス：ニッチ案件開発受託



BTO組立

CFD、協力工場



保守メンテナンス

各グループ会社

製造・量産



フルパッケージ
(完全な外部委託)



国内EMS

協力工場
ファームウェア書き込み、
需要に即応した製造

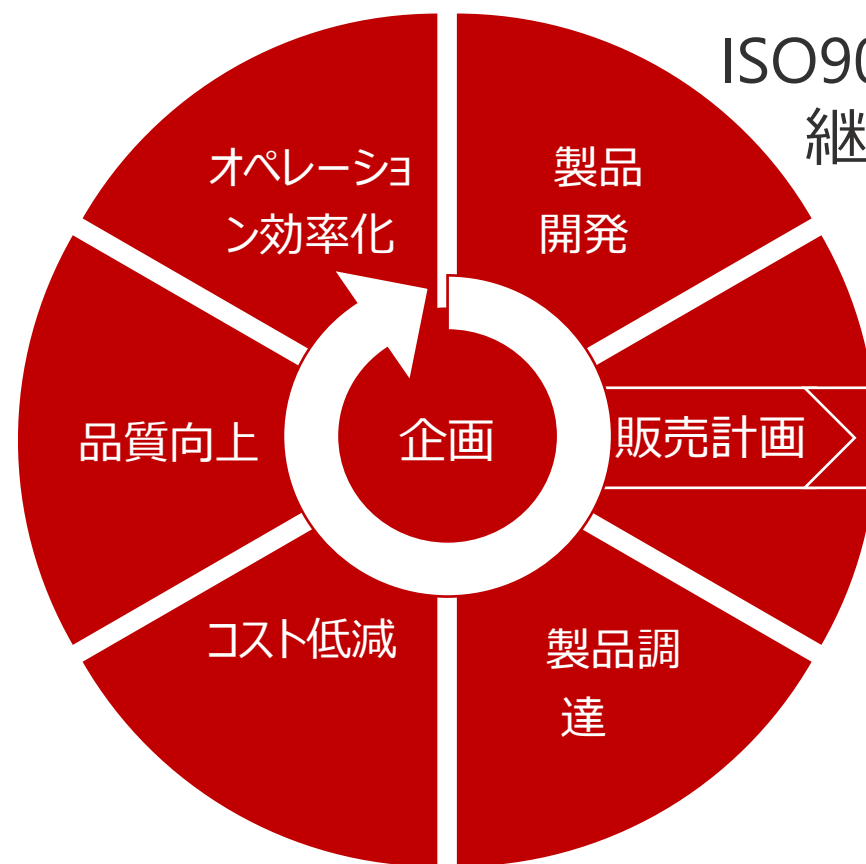
継続事業の領域で目指すポジション



当社の強み

「退屈な領域」に向き合い続けて、深化させた「エンジニアリング・サイクル」が当社の強み
開発からオペレーション効率化まで自ら実行・改善できることが、持続的競争優位となる

エンジニアリング・サイクル



ISO9001認証取得と
継続的な実践により確立

サプライチェーン

販売計画 > 調達 > 製造 > 検査 > 出荷 > 販売 > サポート

当社は創業期から
長期投資により安定収益と持続的成長を支える
最適な「バリューチェーン」を構築

VCE：リーディングエッジ企業との「共創」

当社の強み「エンジニアリング・サイクル」をリーディングエッジ企業に提供し
「退屈な領域」を当社と「共創」 = **Value Chain Engineering (VCE)**

バッファロー

継続事業の延長線上で新たな収益機会を拡大



リーディングエッジ企業

自社の競争領域に経営資源を集中できるメリット

パートナーから選ばれ続ける環境を作り（事業戦略「ニッチコンストラクション」）

IT業界の「退屈」を独占する

これまでの継続事業とVCEの領域

継続事業の収益安定化を基盤に、新たな収益機会を拡大

商品分野	これまでの継続事業	VCE他
メモリ・ストレージ機器	バッファロー バイオス	 ●(株)セキュアとの資本業務提携 ●(株)ビットキーとの資本業務提携 ●ネットワークビデオレコーダの受託開発 ●公共案件で「イナリス」が採択
ネットワーク機器		
その他周辺機器		
卸売品	シー・エフ・デー販売	
関連サービス	アドバンスデザイン（データ復旧・消去） バッファローITS（ネットワーク施工） デジオン（ミドルウェア）	
その他		

資本政策

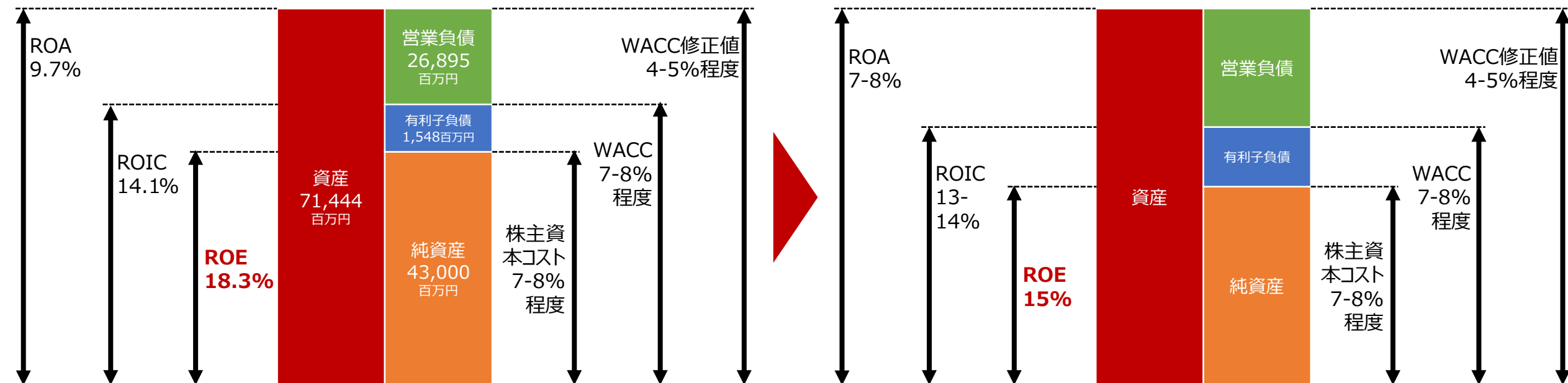
2026年5月14日公表資料を再掲

連結ROE15%以上を目標

資本コストや株価を意識した経営の推進

2026年3月期実績

2027年3月期以降

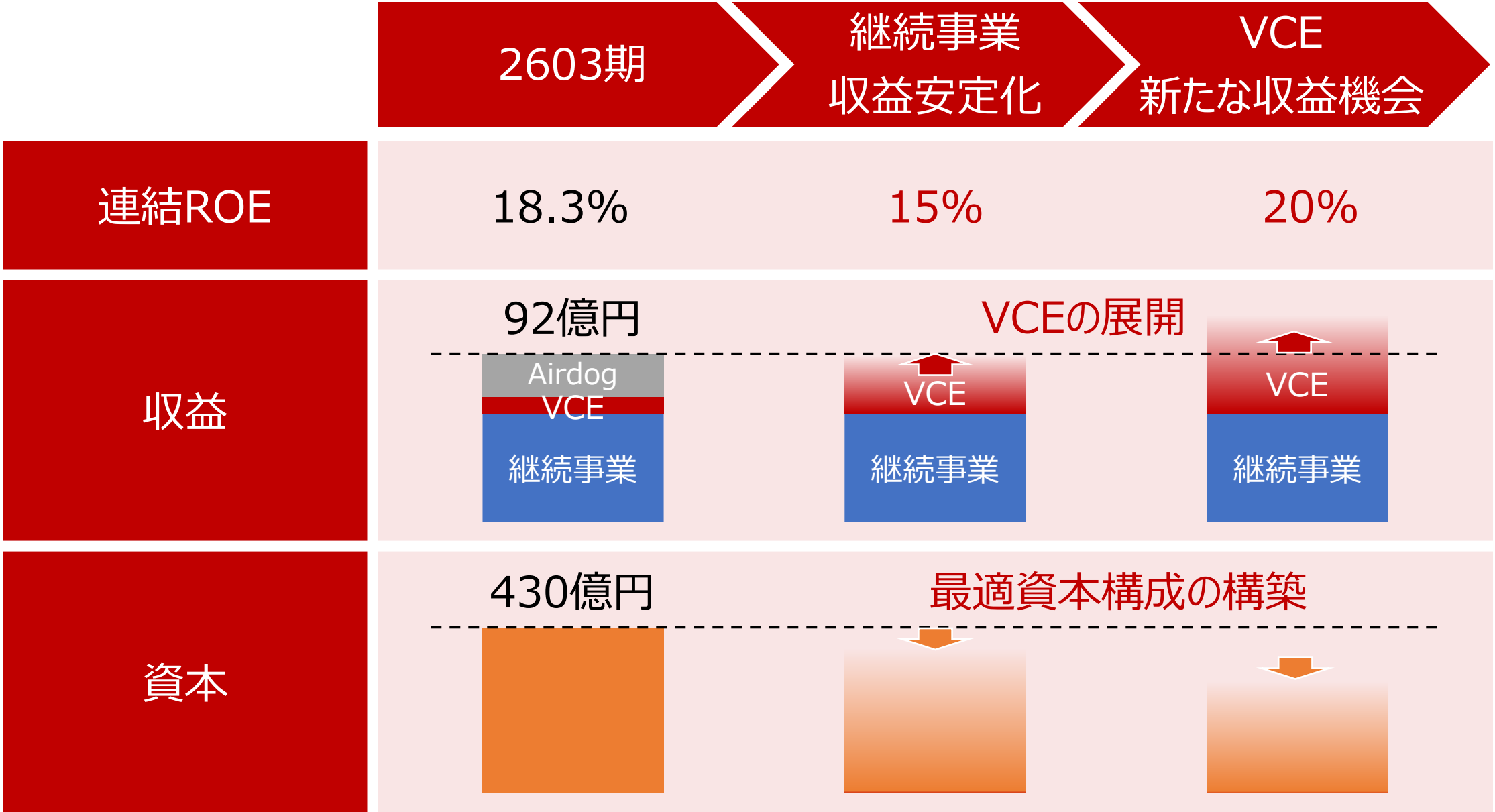


自己株式取得（最大112億円/4百万株）を予定

2026/5/14公表「自己株式取得に係る事項の決定に関するお知らせ」

※株主資本コストはCAPMで推計
※ROA = 税引後経常利益 / 総資産
※ROIC = 税引後営業利益 / (純資産 + 有利子負債)
※ROE = 当期純利益 / 純資産 (自己資本)
※WACC修正値は営業負債の金利をゼロとして算出
※グラフの長さはイメージです。

VCEの展開による資本効率の革新



連結配当性向30～40%を目安

安定した配当等の株主還元を目指す

- 持続的な成長と企業価値の最大化、そしてステークホルダーの皆様への分配を掲げ、連結配当性向30～40%を目安とした安定した配当等の株主還元を目指す
- 連結ROE15%以上を目標とし、配当および自己株式取得による株主還元とバランスシートの適正化を図る
- M&A、VCE投資などの成長投資は、積極的に借入金などの外部調達資金を使用

会社概要/グループ会社

株式会社 バッファロー



設立	1986年（昭和61年）7月1日
資本金	10億円
従業員数	611名 グループ連結963名（2026年3月末現在）
グループ会社	会社数 12社 / 国内9社、海外3社（2026年3月末現在）
本社所在地	東京本社：東京都千代田区丸の内 名古屋本社：愛知県名古屋市中区大須



グループ会社			
 株式会社バッファロー	デジタル家電及びパソコン周辺機器の開発・製造・販売及びデータ復旧サービス	 株式会社バッファロー・IT・ソリューションズ	ネットワーク関連機器及びパソコン周辺機器の販売、インフラの構築・保守
		 株式会社バイオス	ストレージ関連製品の開発・製造・販売
 シー・エフ・デー販売株式会社	パソコンパーツ及び周辺機器の開発・製造・販売	 Advanced Design Corp. アドバンスデザイン株式会社	データ復旧/消去/変換サービス及びデータ消去製品の製造・販売
 株式会社デジオン	ネットワーク・ストレージソフトウェアの開発及び販売	 株式会社DELA	音響機器及び関連製品の開発・販売会社
 株式会社トゥーコネクト	ダイレクトマーケティング事業	[海外] BUFFALO AMERICAS, INC. 他	

免責事項

- 本資料の作成は、正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。
- 本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。本資料中の業績見通しならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。
- そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は記述されている将来見通しとは異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

＜お問合せ先＞

株式会社バッファロー 社長室

<https://www.buffalo.jp>

E-mail : ir@buffalo.jp

TEL : 050-5830-8865